

アカデミックチャレンジ(2年)

2023.0420

今年度新たにはじまった取り組みです。2年次後半からの個人探究(自身で「問い」を立てて追究する)に向けてヒントを得るため+学問探究(研究)の魅力を発見するため、大学で探究(研究)されているテーマ(「問い」・課題)に対して、高校生自身で考えた進め方で、仮説を立てる/仮説の根拠となる資料を集める/資料を分析・検証する/導き出した「答え」をレポートにまとめる…ということに挑戦してみます。

初回は、県内の大学の先生12名を講師としてお招きし(オンラインで参加していただいた先生もいました)、講義やグループワークを通じて、高校生に対して先生方の専門分野に沿った「問い」を提供してもらいました。今後、与えられた「問い」に対して、高校生が自分なりの「答え」を出して大学の先生に提示します。6月末には、高校生が出した「答え」に対する、大学の先生からのフィードバック・振り返りの講義をいただく予定です。

与えられた「問い」の例(生徒の授業振り返りより)

繊維、衣服、ファッションの未来について考えてください。

あなたらしさを見失わずに、自分が納得できる
意思決定はできるでしょうか？

地域再生や地方創生に向けて、地域の課題を見つけて
その改善策を具体的に考えてください。

スポーツにはどのような力があるのか？

虐待体験を持つ子どもを支援するためには、
どのような専門性(役割)が必要だろう？

実験に基づく研究と解析に基づく研究はどのような違いがあるか？